

# 土砂防 だより



朝霧高原からの富士山（富士宮市）

静岡県支部通常総会 .....	2
(一社)全国治水砂防協会通常総会 .....	3
土砂災害防止月間の取組 .....	4
●土砂災害防止月間啓発活動の実施 (砂防フェスティバル2023等)	
●急傾斜地パトロールの実施	
●市町等における広報活動の取組	
●路線バスのフロント広告を活用した土砂災害防止の啓発	
「土砂災害・全国防災訓練」を実施 .....	6
令和5年の土砂災害の発生と対応状況 .....	7
令和4年度砂防関係事業の代表的な完成箇所 .....	8
わがまち(焼津市) .....	9
歴史探訪 砂防のはじまり	
インフォメーション .....	10
募集・お知らせ .....	12

特集

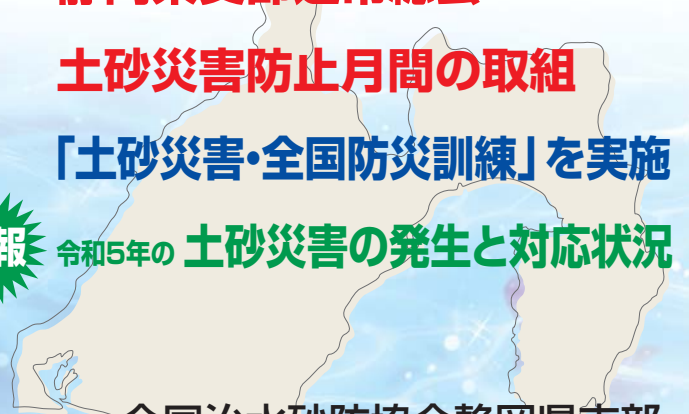
第78回全国治水砂防協会  
静岡県支部通常総会

土砂災害防止月間の取組

「土砂災害・全国防災訓練」を実施

速報

令和5年の 土砂災害の発生と対応状況



全国治水砂防協会静岡県支部

本県の砂防事業の重要性を訴える

# 静岡県支部通常総会を開催

第78回 通常総会



須藤支部長の挨拶

5月31日(水)、全国治水砂防協会静岡県支部の令和5年度(第78回)通常総会を静岡市内で開催し、県内の市町長、各土木事務所長が出席されました。

開会にあたり、支部長の須藤富士宮市長から、約7割が山地である本県には1万8千箇所を超える土砂災害警戒区域があることに触れ、頻発する土砂災害から県民の生命・財産を守る土砂災害対策では、施設整備の推進とともに、ハザードマップの作成や防災訓練等のソフト対策が重要であり、砂防協会による啓発活動、会員相互の連携及び国や県との協調を訴えました。

続いて、来賓の森副知事、中沢県議会議長、国土交通省砂防部の城ヶ崎保全課長、(一社)全国治水砂防協会の大野理事長より御祝辞をいただき、県内3つの砂防直轄事務所長等の来賓紹介の後、議案の審議が行われ、令和4年度の事業報告及び収支決算報告、令和5年度の事業計画、収支予算及び役員の変更が原案どおり承認されました。

多数の会員の皆様に御出席をいただき、誠にありがとうございました。滞りなく総会が終了できましたことを、関係各位に感謝申し上げます。

第78回 通常総会



森副知事の挨拶

第78回 通常総会



中沢県議会議長の挨拶

78回 通常総会



城ヶ崎保全課長の挨拶

第78回 通常総会



大野理事長の挨拶

# 土砂災害対策講演会を開催

総会終了後に、土砂災害対策講演会を開催し、国土交通省砂防部城ヶ崎保全課長には『「いのち」と「暮らし」を守る砂防』、大野理事長には『土砂災害対策の新たな課題』と題し、近年の土砂災害の発生状況、砂防行政の取組、土砂災害における流木被害と対策などについて講演していただきました。会場からは、流木対策の現場での取組についての質問があるなど、大変有意義な講演会となりました。



城ヶ崎保全課長の講演



大野理事長の講演

## 全国治水砂防協会通常総会が開催される

5月25日(木)、(一社)全国治水砂防協会の令和5年度(第87回)通常総会が砂防会館で開催されました。

多くの国会議員が参列される中、全国各地から多数の会員(市町長)が出席され、当支部からは、支部長の須藤富士宮市長をはじめ11名の会員に御出席いただきました。

森山会長による挨拶の後、議案の審議が行われ、令和4年度の事業報告と収支決算報告、全国の砂防関係事業の拡充・促進を図る令和5年度の事業計画と収支予算等が原案どおり承認されました。

また、総会後には、国土交通省水管理・国土保全局三上砂防部長から「被災地の近況とこれからの砂防」と題した特別講演が行われました。

お忙しい中、御参加いただきました会員の皆様には心からお礼申し上げます。



森山会長の挨拶



吉岡国土交通省技監の挨拶



三上砂防部長の講演

### 本県の参加市町

富士宮市、伊豆市、森町、南伊豆町、川根本町、袋井市、  
菊川市、河津町、函南町、清水町、西伊豆町  
(計11市町) ※太字は本人参加



総会の様子

# 令和5年度「土砂災害防止月間」

6月1日(木)～30日(金)

毎年、各地で発生する土石流、地すべり、がけ崩れなどの土砂災害により、多くの人命や財産が失われています。国土交通省と静岡県では、梅雨前線等により雨量が多く、地盤がゆるみ土砂災害が発生しやすくなる6月を「土砂災害防止月間」とし、土砂災害とその防止について県民の皆様の理解と関心を深めていただくため、様々な活動を行いました。

## 主な活動

- 土砂災害防止月間啓発活動の実施
- みんなで防ごう土砂災害～砂防フェスティバル2023～の開催等
- 急傾斜地パトロールの実施
- 広報活動の取組
- 路線バスのフロント広告を活用した啓発
- 「土砂災害・全国防災訓練」の実施
- 土砂災害防止に関する絵画・作文の募集及び展示 など

## 令和4年に発生した土砂災害件数

	土石流	地すべり	がけ崩れ	計	死者・行方不明者*
全国土砂災害発生件数	198件	41件	556件	795件	4名
静岡県土砂災害発生件数	61件	4件	146件	211件	1名

※災害関連死を除く



立看板(静岡県庁本館正面玄関)

## 1 土砂災害防止月間啓発活動の実施(砂防フェスティバル2023等)

6月17日(土)、土砂災害の発生状況や砂防関係事業のハード・ソフト対策の取組に関する情報を発信し、県民の皆様に土砂災害防止に対する理解と関心を深めていただくよう、静岡市葵区の青葉シンボルロードで「みんなで防ごう土砂災害～砂防フェスティバル2023～」を開催しました。

このイベントは、国土交通省静岡河川事務所、沼津河川国道事務所、富士砂防事務所、静岡地方気象台、静岡県、静岡市の共催によるもので、当日は晴天にも恵まれ、会場には多くの人々が訪れました。

県では土砂災害防止に関するパネルの展示、動画の紹介、3次元点群データの活用などの啓発活動を行い、土砂災害に関するクイズにも挑戦してもらいました。

また、今年からの新たな取組として、JR静岡駅改札口前の電光掲示板に、土砂災害防止施設の効果事例や土砂災害に関する絵画・作文の入賞作品などを表示し、土砂災害への「日頃の備え」と「早めの避難」を呼びかけました。



静岡県ブースの様子



土砂災害のクイズに挑戦!



JR静岡駅電光掲示板

## 2 急傾斜地パトロールの実施～関係機関や砂防ボランティアとの協働～

急傾斜地崩壊危険区域において、市町、警察や消防等の関係機関及び砂防ボランティアと連携し、急傾斜地崩壊防止施設の異状の有無、斜面の状況確認及び排水路の機能等を点検する急傾斜地パトロールを実施しました。

タブレットを活用した点検により、点検結果の入力や報告書作成などの事務作業軽減が図られています。



パトロールの様子(藤枝市)

# の取組

## 3 市町等における広報活動の取組

市町や土木事務所において、土砂災害防止の広報活動として、広報誌やホームページ等への掲載、庁舎の横断幕や懸垂幕等の掲示、公用車へのマグネットシートの貼付やポスターの掲示などに取り組んでいただきました。



懸垂幕掲示(袋井市)



令和5年度 土砂災害防止月間ポスター

広報誌への掲載	東伊豆町、南伊豆町、裾野市、函南町、伊東市、静岡市、焼津市、藤枝市、川根本町、袋井市、菊川市、御前崎市、湖西市、砂防課（13市町）
インターネットを活用した広報	東伊豆町、島田市、焼津市、砂防課（3市町）
横断幕、懸垂幕、立看板の掲示	西伊豆町、南伊豆町、伊東市、伊豆の国市、伊豆市、函南町、富士宮市、静岡市、焼津市、川根本町、磐田市、掛川市、袋井市、御前崎市、浜松市、砂防課、熱海土木事務所、静岡土木事務所、袋井土木事務所（15市町）
ポスター掲示	各市町関係機関、県内セブンイレブン760店舗、砂防課、各土木事務所、各地域局、各農林事務所
路線バスのフロント広告	東海バス、伊豆箱根バス、富士急バス、静鉄バス、遠鉄バス、湖西市※、川根本町※

※湖西市及び川根本町はコミュニティバス

## 4 路線バスのフロント広告を活用した土砂災害防止の啓発

県内の路線バスを運行するバス会社5社加え、今年度から湖西市と川根本町のコミュニティバスと連携し、バスフロント部の広告を活用し、「日頃の備え」と「早めの避難」を県民の皆様にも周知しました。

この取組により、県内の都市部から山間部まで広域に、バス運行時間(特に明るい時間帯)の長時間にわたり、バス利用者やすれ違い車両、歩行者等の道路利用者にも幅広く啓発できる効果を期待しています。

なお、月間の初日である6月1日(木)に、静岡市内のバス営業所において、「土砂災害防止月間」キャンペーンバス出発式を開催しました。



出発式の状況



静岡市内のバス運行の状況

# 「土砂災害・全国防災訓練」を実施

## ～避難の呼びかけ、安全の確認～

6月4日(日)の全国統一実施日を中心に、「土砂災害・全国防災訓練」を実施しました。

この訓練は、6月の「土砂災害防止月間」の取組の1つとして、土砂災害に対する避難体制の強化と防災意識の向上を図ることを目的に、土砂災害警戒区域等の住民が参加する実践的な避難訓練です。

本年は、昨年の台風15号により多くの土砂災害が発生した教訓を生かし、より実効性のある訓練として「避難の呼びかけ、安全の確認」をキャッチフレーズに、地域内での呼びかけによる避難や安全を確認する訓練を重点的に行いました。

統一日には、16市町で地域住民や関係機関など約1,300人がモデル地区訓練(実動訓練)に参加し、避難指示に伴う住民や要配慮者等の避難訓練を行うとともに、ハザードマップで危険な区域や避難場所、安全な避難路を確認するなど、自助・共助による防災意識を高めました。また、訓練終了後に、県・市職員による土砂災害防止講習会を実施しました。

統一日以外にも7市でモデル地区訓練を行い、合計で約1,900人が参加しました。

### 訓練参加市町

- ◆6月4日(日) …… 下田市、東伊豆町、河津町、松崎町、西伊豆町、熱海市、伊東市、御殿場市、裾野市、伊豆市、牧之原市、川根本町、掛川市、袋井市、菊川市、御前崎市
- ◆6月4日(日)以外 …… 南伊豆町、沼津市、三島市、伊豆の国市、函南町、清水町、長泉町、小山町、富士市、富士宮市、静岡市、島田市、焼津市、藤枝市、吉田町、磐田市、森町、浜松市、湖西市

### 訓練の状況



ハザードマップの確認  
(6月4日:河津町)



土砂災害警戒区域の確認  
(6月4日:西伊豆町)



土のう作成訓練  
(6月4日:伊東市)



土砂災害講習会  
(5月28日:富士宮市)



指定避難場所への避難訓練  
(6月4日:伊豆市)



警察による避難誘導  
(6月4日:小山町)



土砂災害警戒区域の現地確認  
(6月4日:裾野市)



防災無線による情報伝達訓練  
(6月4日:川根本町)



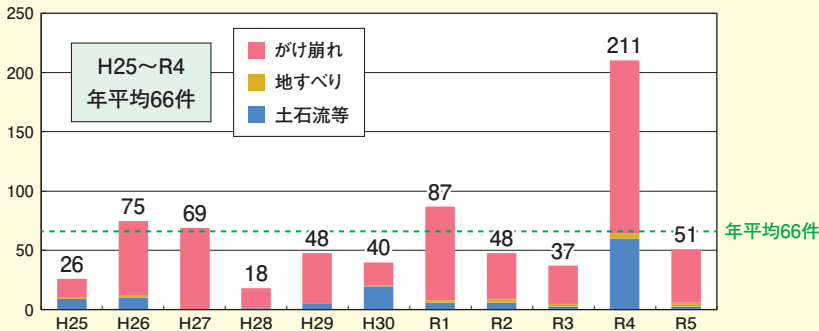
高校生ドローン隊によるドローン操作訓練  
(6月4日:掛川市)

# 令和5年の土砂災害の発生と対応状況

土砂災害は、降雨や地震などにより突然発生し、尊い生命や貴重な財産を一瞬にして奪い、地域に深刻な被害をもたらす恐ろしい自然災害です。本県では、年平均66件の土砂災害が発生しています。令和4年の土砂災害の発生件数は平成以降で最も多い211件となり、死者1名を含む人的被害4名、住宅100戸に被害が生じています。

令和5年度は、6月2日の梅雨前線等の影響により、6月末までにすでに51件の土砂災害が発生しており、死者1名を含む人的被害2名、住宅12戸に被害が生じています。一方、「神ヶ谷東(浜松市)」外2箇所では、擁壁工が崩壊土砂や倒木をくい止め、人家への被害を防ぐことができました。

## ■ 県内の土砂災害の発生状況 (R5は6月末現在)



神ヶ谷東(浜松市)の急傾斜地崩壊防止施設の効果

## 浜松市で災害関連緊急事業が2件(長沢・気賀山後A)採択されました!

6月2日の梅雨前線豪雨により浜松市天竜区の「長沢」で発生した地すべり、北区細江町気賀の「気賀山後A」で発生したげけ崩れについて、再度災害を防止する災害関連緊急事業が採択されました。今後、調査や設計、用地取得等を早急に進め、対策工事の早期完成を目指します。

事業名	箇所名	保全対象	対策内容	採択額	採択日
災害関連緊急地すべり対策事業	ながさわ 長沢	人家5戸 (主)天竜東栄線 (一)西阿多古川	応急横ボーリング工 侵食防止工 仮排水路工 等	208.35 百万円	R5.6.16
災害関連緊急急傾斜地崩壊対策事業	きがさんご 気賀山後A	人家18戸	吹付法枠工 ロックボルト工 等	90.0 百万円	R5.6.28



位置図

## 災害関連緊急事業の概要



長沢(浜松市天竜区)



気賀山後A(浜松市北区)

令和4年度

# 砂防関係事業の代表的な完成箇所

## 砂防事業

わしすがわ

### ● 鷺頭川砂防堰堤工 (沼津市多比地先)



鷺頭川では、砂防堰堤1基を整備し、人家81戸、国道と市道の保全を図りました。

どいどみなみさわ

### ● 土井戸南沢砂防堰堤工 (浜松市天竜区山東地先)



土井戸南沢では、砂防堰堤1基を整備し、人家11戸、避難所と国道の保全を図りました。

## 急傾斜地崩壊対策事業

うきはしこね

### ● 浮橋古根擁壁工 (伊豆の国市浮橋 地内)



浮橋古根では、急傾斜地崩壊対策工事として擁壁工を整備し、人家9戸と市道の保全を図りました。

にしうんな

### ● 西雲名擁壁工 (浜松市天竜区西雲名 地内)



西雲名では、急傾斜地崩壊対策工事として法面工等を整備し、人家5戸の保全を図りました。

※令和3年度に工事を実施し、完成した箇所

事業名	箇所名	事務所名	位置	事業費(百万円)	着手年度	事業概要
砂防	見高沢	下田土木	賀茂郡河津町見高	172	R2	透過型、H=9.0m、L=28.0m
	鷺頭川	沼津土木	沼津市多比	600	H24	不透過型、H=11.5m、L=49.5m
	土井戸南沢	浜松土木	浜松市天竜区山東	160	H29	透過型、H=5.5m、L=40.5m
急傾斜地崩壊対策	西本郷	下田土木	下田市西本郷	140	H30	擁壁工 L=60.9m
	浮橋古根	沼津土木	伊豆の国市浮橋	130	H28	擁壁工 L=98m
	長沼五郎松	静岡土木	静岡市葵区長沼	494	H23	擁壁工 L=212.8m
	高御所	袋井土木	掛川市高御所	200	H31	擁壁工 L=120m
	平松敷下B	袋井土木	磐田市平松	349	H28	擁壁工 L=399m
	高林花ノ木	浜松土木	浜松市中区高林	560	H26	法面工 A=12,568m <sup>2</sup>
	西雲名	浜松土木	浜松市天竜区西雲名	225	H29	擁壁工 L=114.9m
	上日余	浜松土木	浜松市天竜区佐久間町相月	210	H28	擁壁工 L=100.7m
松島	浜松土木	浜松市天竜区佐久間町相月	30	R1	擁壁工 L=3.1m	

※地すべり対策事業は完成箇所無し



焼津市は、駿河湾に面した平坦な土地が広がり、市内には、一級河川大井川や12の二級河川、16の準用河川が流れ、北は高草山を主とした山間部が占めるなど、海・川・山を有する良好な自然環境が多く、市民にも親しまれています。

また、本市は、特定第3種漁港である焼津漁港と市が管理する地方港湾大井川港の2つの港を有しており、焼津漁港においては、全国の漁港の中で、水揚げ金額が7年連続で全国第1位となっております。

「さかなのまち」のイメージが強い焼津市ですが、実は穴場的な海洋型温泉地でもあり、天然温泉「焼津温泉」は、全国の温泉地から「イチオシ」の温泉地をWEB投票などにより決定する「温泉総選挙」のリフレッシュ部門で、4年連続で第1位となっております。

本市では、豊かな自然に恵まれている一方、土砂災害警戒区域が90箇所指定されていることから、住民が適切な避難行動がとれるよう、土砂災害ハザードマップを対象地区に全戸配布するとともに、毎年6月には、土砂災害に関する避難訓練や夜間の情報伝達訓練を実施し、防災意識の向上に取り組んでいます。

また、現在、県により、小浜地区の砂防堰堤の整備に着手していただくなど、土砂災害対策が計画的に進められています。

今後も、住民が安全・安心に暮らせるよう、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



JR焼津駅前足湯



水揚げの様子



「小浜アハラ」急傾斜地崩壊防止施設

## 歴史探訪

## 砂防のはじまり

昨年の台風15号では、平成以降で最も多くの土砂災害が発生するなど、近年砂防事業の重要性が一段と高まっています。そこで、砂防の歴史をその時代背景とともに振り返ることで、国土や人命を守る砂防の役割を改めて考えます。初回は、砂防法制定までの時期にスポットを当てます。

我が国における最初の砂防事業の計画的な実施は、徳川幕府による「諸国山川掟(1662)」からとられています。この掟は土砂流出防止のための植樹の励行や山地作業の取締まりを定めたものでした。

明治維新後、国家興産の基礎である治水整備等の目的で招聘したデ・レーケ等のオランダ人技師は、日本各地の河川の水源地域の荒廃に驚き、砂防工事が急務であることを政府に建白したこともあり、明治11年には国直轄、14年には県営の砂防工事が実施されるなど近代砂防事業が始まりました。

その一方、明治20年代に頻発した大水害に鑑み、政府は治水関係の法体系の整備を痛感し、明治29年に河川法、明治30年には砂防法と森林法を制定しました。

当時の内務省土木局長は、貴族院において、砂防法制定の主旨を「昨年(明治29年)に制定した河川法は河川の改修に役立て、水源は農林省所管の山林法(森林法)によって森林の涵養に備え、なお、山地から流出する土砂を拵止(かんし)せんがためにここに砂防法を制定する所以であるが、この三法の運用によって初めて治水の実を挙げることができる」と説明し、国土保全における「治水上砂防」の重要性を明らかにしています。



淀川上流域田上(たなかみ)地区はげ山の状況(滋賀県大津市)

出典:国土交通省砂防部 ホームページ

## 「砂防関係事業担当者会議」を開催

4月14日(金)に、「砂防関係事業担当者会議」を、県庁で開催しました。この会議は、各土木事務所の砂防関係事業担当者が参加し、砂防関係事業の情報共有などを目的として毎年、年度初めに行っています。

今回の会議では、砂防課の担当者から最近の砂防関係事業における話題や注意事項について説明するとともに、各事務所からの質疑応答を行うなど活発な意見交換が行われました。



会議の様子

## 令和5年度 東海地区砂防課長会議・東海ブロック砂防主管課長会議が開催される

4月28日(金)に、東海地区砂防課長会議・東海ブロック砂防主管課長会議が、三重県松阪市の松阪シティホテルで開催されました。

国土交通省保全課 熊澤土砂・洪水氾濫対策官をはじめ、中部地方整備局及び岐阜県・静岡県・三重県・愛知県の各県砂防主管課長等が出席しました。

会議では、国土交通省砂防部からの連絡事項「砂防行政に関する最近の話題」等、本省からの議題に関する討議及び各機関からの提案議題の討議が行われました。



会議の様子

## 水害・土砂災害対策の推進に関する意見交換会を開催しました

5月23日(火)から5月30日(火)にかけて、県内4会場で県土木事務所と市町の担当職員を対象とした「水害・土砂災害対策の推進に関する意見交換会」を開催しました。

気候変動の影響により、近年、豪雨災害が頻発化・激甚化しており、関係者が連携して水害対策や土砂災害対策に取り組む必要があります。

当会議では、水害や土砂災害に対する警戒避難体制の充実強化を目的とし、以下の議題について先進的取組や課題等を共有しました。

- ・避難の実効性を高める取組
- ・避難指示を躊躇する理由



水害・土砂災害対策の推進に関する意見交換会(東部地区)

## 「国土交通省直轄砂防事務所・県砂防課合同打合せ会」を開催

6月14日(水)に、「国土交通省直轄砂防事務所・県砂防課合同打合せ会」を、静岡県庁で開催しました。合同打合せ会は、県内の直轄砂防事務所である静岡河川事務所、沼津河川国道事務所、富士砂防事務所と県砂防課が、本年度の事業計画や最新の取組、連絡事項等を情報共有し、各機関の円滑な事業実施を目的に毎年開催しています。

今回の合同打合せ会では、県の土砂災害防止に関わる取組などについて情報を共有し、3次元点群データの整備手法や砂防施設の堆積土砂等の処理について意見交換を行いました。



打合せ会の様子

## 令和5年度(第41回)土砂災害防止「全国の集い」 in 富山が開催されました

6月1日(木)～2日(金)に、令和5年度(第41回)土砂災害防止「全国の集い」in 富山が、富山国際会議場(富山市)で開催されました。

今回の「全国の集い」では、『治水分県・富山で考える土砂災害対策～立山の砂防 120年とこれから～』をテーマに、基調講演やパネルディスカッションが行われ、ポスターセッションでは、本県の「上田町特定利用斜面保全事業～がけ崩れ対策で一挙三得の安全安心～」について紹介しました。

2日目の現地研修会では、飛越地震で崩壊した土砂が天然ダムを形成し、その後土石流となって富山平野に運ばれたとされる大場の転石や日本最大級の貯砂量を誇り重要文化財でもある「本宮堰堤」等の視察を行いました。



ポスター展示の様子



パネルディスカッションの様子



現地研修会の様子(大場の転石)



現地研修会の様子(本宮堰堤)

## 市町等砂防担当職員研修を開催 ～土砂災害警戒情報による「早期避難を目指して!」～

6月16日(金)に、市町等の砂防・防災担当職員を対象に、土砂災害に関する防災気象情報や「危険度分布」を確認できるウェブサイトなどを操作する実践的な研修を、静岡地方気象台と共同で県庁東館のOA研修室で開催しました。

研修は、2回に分けて実施し、17市町と県の担当職員合わせて28人が出席しました。「静岡県の気象と防災気象情報」(静岡地方気象台土砂災害気象官)及び県ホームページで公開している「土砂災害警戒情報補足情報システム」(県砂防課)について説明を行った後、パソコンを操作し避難指示の発令を想定した危険度判定などの演習を行いました。

今後の台風シーズンに向け、土砂災害が発生しやすい時期になることから、参加者からは、「近年稀にみる大雨となった令和4年度台風15号の特徴がよくわかった」、「補足情報システムの操作演習を今後の災害対応に活用したい」など、多くの貴重な意見や感想が寄せられました。



「土砂災害警戒情報補足情報システム」の活用演習

# 【令和5年度】土砂災害防止啓発用品の紹介等

当支部では、土砂災害防止啓発のため、下記の啓発用品を作成・配布しました。  
御活用いただきありがとうございました。



## 募集・お知らせコーナー

### 土砂災害防止に関する絵画・作文の募集

今年度も、土砂災害の恐ろしさや土砂災害防止についての理解と関心を深めるため、絵画・作文を募集します。

- 【募集対象】 小・中学生 【応募期間】 6月1日(木)～9月15日(金)
- 【応募方法】 作品には応募者の学校名(ふりがな)、学年、氏名(ふりがな)を明記して下さい。
- 【応募先】 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号  
静岡県交通基盤部砂防課 砂防班  
TEL(054)221-3044 FAX(054)221-3564

詳細は、砂防課ホームページからもご覧いただけます。  
<https://www.pref.shizuoka.jp/machizukuri/kasensabo/sabo/index.html>



### ジオフォーラム 2023 IN 静岡

- 【日時】 令和5年11月10日(金) 10:00～16:30
  - 【会場】 しずぎんホール ユーフォニア
- ※全国治水砂防協会静岡県支部が協賛しています。

参加  
無料



- 8月24日(木)～26日(土) 市町長等砂防事業県外視察(熊本県)
- 9月 1日(金) 防災の日
- 10月25日(水) 東海地区治水砂防協会支部長・砂防課長合同会議(静岡市内)
- 11月16日(木) 全国治水砂防促進大会(砂防会館)
- 11月16日(木) 静岡県支部砂防関係事業促進要望(議員会館等)
- 未定 市町等砂防担当職員現場研修



【表紙写真】  
朝霧高原からの富士山 (撮影地:富士宮市)  
写真提供: 静岡県観光協会  
※砂防協会では表紙に掲載する静岡県内の写真を募集しています。皆様のご協力をお願い申し上げます。詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。

### 編集・後記

花火が夜空を彩る季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。6月の土砂災害防止月間では、初めての試みとして静岡駅構内でのデジタルサイネージ掲出を行い、土砂災害防止について周知啓発をしてまいりました。今後も様々な形でより多くの皆様に分かりやすい啓発活動につとめてまいります。  
盛夏の候、皆様の息災をお祈り申し上げます。

砂防だよりは砂防課ホームページでご覧いただけます。 <https://www.pref.shizuoka.jp/machizukuri/kasensabo/sabo/index.html>



第211号 発行日: 令和5年7月15日  
編集・発行: 全国治水砂防協会静岡県支部  
〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 静岡県交通基盤部河川砂防局砂防課内  
TEL(054)221-3042 FAX(054)221-3564 E-mail: sbkk\_s@yahoo.co.jp

